

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 花の拠点づくり事業	肥料及び種子を配布する。	配布団体数	団体	12	11	10	10
② 花の都づくり推進事業(花の管理及び植栽業務)	委託により花苗を育て、市内の公共施設に植栽を行う。	植栽サイクル数	回	3	3	3	3
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 植込み箇所	地域で植込みを行った花壇数	箇所	15	46	46	46
			46	46	46	
2 花苗配布箇所	花苗を施設に配布・植栽した箇所数	箇所	4	24	24	24
			27	24	24	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	花づくりを定着させることが出来なくなり、「花の都づくり玉名」の実現に向けて支障をきたす。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	花づくりの周知をより一層図り、各種団体・ボランティア団体を増やしていく。(花づくり等の講座の開催)
	民間の活用余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	花づくりの周知を広報等を通じてより一層図るとともに、花づくり等の講座を開催し多くの方が花づくりに興味を持ってもらえるよう努力していく。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	花と緑があふれるまちづくりを目指すため、今後も事業を継続する必要がある。	評価責任者 三次 祐二
------------------	--------------------------------------	----------------